



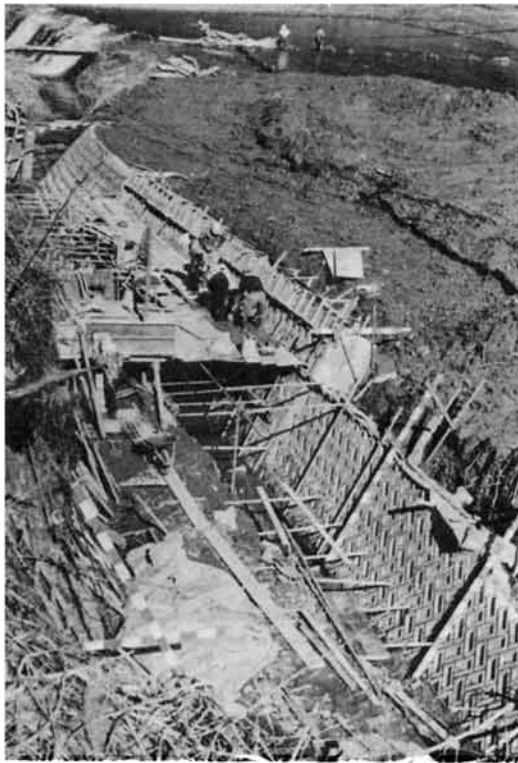
町のすがた

(3月1日現在)

人口 男 3,337人 (-2)
女 3,538人 (-6)
計 6,875 (-8)
世帯数 1,568 (+2)
()は1月1日との比較

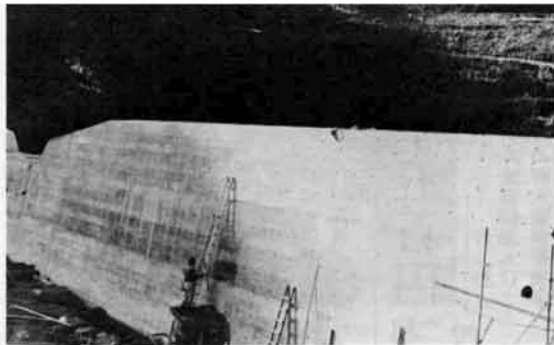
第132号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和54年3月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(025842) (02221)
昭和53年7月4日第3種郵便物認可
印刷 長岡市柳中越タイプ社



現在

蓮花寺荒戸ヶ入地内 (3千300万円)



当時



現在

蓮花寺堰ノ入地内 (3千600万円)



当時

逆谷西河内地内 (3千700万円)

現在

あつ六、六梅雨前線案雨から九か月が過ぎようとしてい...
暖冬、順調に進む災害復旧

三月から四月にかけては就職...
サラリーマン 名言集

女性の一生のうちで、一度や二度はかかる一種の婦人病といわれ...
女性に多いボウコウ炎



この病気、なぜ女性に多いかとい...
忘れないうで転居、転出の手続き

三月から四月にかけては、仕事...
忘れないうで転居、転出の手続き

国民年金(該当者)加入の手続き...
役場人事

電話の移転早目に申込を
春先きは、電話の移転工事が多くなり...

1回の手続きで免許証更新
おしらせ
一月十日に七日市の水田に飛来した五羽の白鳥親子...

午後は一時からそれぞれ受け付け...
忘れないうで転居、転出の手続き

Table with 5 columns: 月日, 種別, 対象者, ところ, とき. Contains blood donation and health checkup schedules.

非行へのワナ
少年の非行を防ぐには、「家庭教育機能」の見なおし...



与板町にある企業団浄水場

四月一日から、町の水道事業は「与板町外二ヶ町村水道企業団」に加入することになりました。二月二十四日に開かれた町議会議事会でこの加入が議決されたもので、ガス事業に続き、水道事業も広域の事業として共同運営されることになりました。計画では現在の「与板町和島村水道企業団」の取水施設、浄水施設などを能力アップし、今ある町の配水池まで送水管を敷設、配水するといふものです。工費は概算見積りで約九億円で、新年度から本格的な調査設計に入り、工事期間を三年以内とみて、五十七年度にはこの大規模な調査設計が完了の見込みです。しかし、この莫大な費用ねん出のため、一般会計から多額の負担と、水道料金の値上げという大きな財政的課題もあります。

水道事業 四月から企業団(与板町和島村)に加入

建設改良費は町が負担

配水能力二・七倍に
加入の条件等を取り決めた協定書では、三島町が加入するためには企業団の現在の施設や設備ではダメで改良や増設工事が必要となるので、この一切の費用を三島町が負担すること。そのために当分の間三島町地区に限って他の地区より高い不均一料金を適用するとともに、財政計画に基づいた資金の負担を行うこと。などとなっている。

主な工事としては、協定による建設改良工事、町の配水池までの送水管敷設工事、藤川地内に設けられる中継ポンプ場工事、旧大津地区高台地区の水道事情を改善するための配水管増強工事などが行われ、完成すれば、現在の計画より配水能力千二百五十立方が、一挙に三千立方に、二・七倍に能力が向上し、単に配水を受けると

基本千五百円(超) 過百五十円(二立方) 四月徴収分から値上げ

四月一日からの企業団加入にもなつて、現行の町水道事業関係条例等は新しい企業団規約に書き替えられます。

そのなかで一番大きな点は、水道料金の改定です。四月徴収分から三島町地区に限って、昭和六十年度まで(予定)加入協定に基づき料金を上げが実施されます。新しい料金は基本料金十立方、千五百円(現行七立方、六百三十円) 超過一立方、毎に百五十円(同百円)となります。

確かに、高い水となりませんがこの大きな事業を実施するために一般会計から新年度以降、計画的に多額の負担をすることになっていきます。そして利用者のみならずからは、できるだけ値上げ幅をおさえた範囲内で、当分の間負担増

ほぼ昨年並み
「減反」配分面積
二月二十八日、県から市町村に對して転作目標面積の仮配分が行われました。今年町に配分された面積は昨年の五〇・七ヘクタールをわずかに下回る四八・七ヘクタールです。「コメ」をめぐる情勢は一段と厳しく、農家の転作協力にもか

町選出企業団職員は四人
企業団も町と同じように町議会議事会に於ける企業団議員がおかれませんが、この企業団議員は一町村から四人づつ、十二人がそれぞれの町議員のなかから選ばれます。

さらに町長にあたる企業長には与板町長が、三島町長と和島村長は各々として企業長の諮問に依りて企業団の運営について助言することになっていきます。

なお、工事期間中は従来どおり町の水源や施設を利用し給水されますが、工事が終ると、吉崎地内にある現在の浄水場施設は廃止される予定です。

三月定期議会開かれる

三月八日から十九日までの十二日間の日程で第一回町議会議定例会が開かれています。

「予算議会」と呼ばれているこの議案に提案された新年度の町一般会計予算案の規模は、十億五千三百二十七万六千四百円で、加入が決まった水道事業の大きな負担や、依然として続く地方自治体の困難な財政事情を反映して厳し内容となつていますが、住民の利便、生活向上に関する事業や施策は、そうゆずれないと、引き続き生活関連環境の整備充実などが大きな柱となつていきます。

なお、予算の詳しい内容は次号でお知らせする予定です。

四月から三千三百円
国民年金の保険料
四月から一月分、三千三百円に改められます。

国民年金は五十一年度の法改正とその後の物価スライド制によって年々支給額の向上がはかられています。

こうした年金を支給し、将来にわたって健全な年金財政を維持していくために必要な保険料は一月六千円ともいわれ、今年も理解を、望んでいます。

参考までに昨年度の転作面積実績は、五一・九ヘクタール、内訳は管理転作が一番多く一六・八ヘクタール(三〇・八割)そは七(一三・二)大豆六(一一・七)一般作物五(九・五)麦四(八・四)となっています。

わが家の避難訓練
春先は空気が乾燥し、春特有の強い風が吹き、火の元に十分注意しなければならぬ季節です。四月一日から一週間春の火災予防運動が実施されます。

各家庭で、万が一の場合を想定して日曜日の朝早く、春の眠りをさます避難訓練を実施されたらどうでしょうか。そのおと家族全員で体操でもして、朝食の準備を兼ね、防火についてみんなで話し合えば、もう、申し分ありません。

そして、今年は気温が高めに推移していることから農作業や山仕事も早くなりそうです。大

老人作品展 見事なワザ

老人作品展 民謡大会



▲そろいの衣装でハッスルすれば

▼盛んな声援と拍手が



二月二十六日と二十七日の二日間、町の体育館で開かれた老人の「作品展と民謡大会」生きた民謡、味を通じた作られた民謡品、書画、楽焼などが二階の会場いっぱい

に並べられ、どれも、これが素人の作品かと思えばかなりの逸品ぞろい。会場を訪れた若い人たちも、「さすがベテラン、うまいものだ」と驚きの声をあげていました。二日目の民謡大会も、私も私も

と、自慢のノドや踊りがとぎれなく続き、出演を断る一幕もあるほど。集まった五百人余のお年寄りたちの「フイッ」ぶりに会場は一日中熱気にあふれていた。

この催しに参画された町老人クラブ連合会顧問の白倉喜一郎さんは「大成功でした。自分が生きがいを求め、健康で明るい毎日を過ごすことが、これからの我々の課題。来年も、今回以上の大勢の人たちとこの催しで、一緒に顔を合わせたいものです」と、盛況の喜びを語

農地、安心して貸し借り

今年から利用増進事業

自分の家では今、農業ができない。だが、農地は手放したくない。当分の間、人から作ってほしい。最近まで続いてきた水争いの形跡は今日はいくなく、月日がたつにつれて水争いは昔話として語り伝えられ、歴史の一頁をつづることになろう。

金く逆の現象がでてくる。現在では用水、水門等が完備され、必要に応じた水量をいつでも取り入れることができ、また、水量が多いときはいつでも排出ができ、天候に左右されず自分たちの思うままに水の管理ができるようになった。

最近まで続いてきた水争いの形跡は今日はいくなく、月日がたつにつれて水争いは昔話として語り伝えられ、歴史の一頁をつづることになろう。



鐵研排水機場

昔の三島町の水争い

今井 玄 雄

三島町の農業は昔から稲作りが盛んで特に農家の皆さんは米作りに精を出し、今日なお農協の技術指導と相まって研究が続けられてゆくことであらう。

稲作りにかかすことのできない最も重要なものは田んぼに水を引くことである。毎年繰り返されてきた水争いは三島町の場合、大きく二つに分けられる。

一つは川上の方で干ばつのため水が不足になり何とかして少しでも多くの水を得ようと命がけで奔走し、苦勞に苦勞を重ねてきた。

ふるさとを送る

申込受付中

毎月、町の広報紙を速くふるさとを離れて生活しておられる町出身者の方々に「ふるさとニュース」として郵送する制度が、関係者のみなさんから大変喜んでもらっています。

自分の兄弟や、子供さんのため、この郵送を希望される場合には、適宜な用紙に①郵送先の住所、氏名、

年齢、②申し込み者の住所、氏名、③郵送先の人の間柄。を書いて、一年分の郵送料実費三百円を添えて、企画調整課にお申し込みください。申し込みの期限は、なく、いつでも受け付けています。

なお、昨年申し込まれた方には別に案内を差し上げます。

新しい協会に加入を

職業訓練実施事業主

四月二日に発足をめざしている「新潟県職業能力開発協会」では、趣旨に賛同する会員の加入を求めています。

民間の職業訓練の大きなエネルギーとなつている「県職業訓練法人連合会」と「同技能検定協会」を発展的に統合してより充実した事業内職業訓練の推進、技能検定制度の普及、技能尊重気運の振興をめざそうとするものです。

加入できる会員は職業訓練を実施している者、またはこれらの活動推進を行う者など、個人、団体の別、事務所の有無などに制限はありません。そのほか、この協会についてくわしいことは、市産業課におたずねください。